

中国
南西部山岳地帯におけるアグロフォレストリー事業
現地からのお便り（2018年7月～2019年6月）

2019年8月
コンサベーション・インターナショナル

四川省と雲南省のアグロフォレストリー

四川省のガンブ村では、8ヘクタール（120中国の畝）のアグロフォレストリーシステムのデモサイトが作られ、管理されています。地元の農業ビジネスとの連携が始まり、デモサイトからの収穫物の販売が進められる計画でしたが、進捗が遅れています。今後、アグロフォレストリーの継続のための取り組みを進めます。



ガンブ村のアグロフォレストリー（左）と黒豚飼育（右）

雲南省のシーサンパンナの Changtianba 村では、26.7ヘクタール（400畝）の茶畑の多様化を行いました。1700本のレモンの木の苗、1000本の Baccaurea の木とクリの木の苗が茶畑のお茶の木の間植えられました。このやり方は、コミュニティの調査やトレーニングなどに基づいて決めました。その他、7世帯の豚飼育を支援し、農作業に必要な噴霧器などの道具を村に提供しました。また、Changtianba 村とシーサンパンナ自然保護区との間で共同管理の合意が結ばれました。少し時間はかかりますが、今後これらの取り組みが経済的便益を生み出していくことを期待しています。



Changtianba 村の茶畑

アグロフォレストリーモデルの展開

ガンブ村のデモサイトの取り組みに基づき、アグロフォレストリーがもたらす便益についての分析が行われ、四川省生計調査協会が「地域最適化モデルを通じた農業開発と貧困削減の新しいアプローチ」と題した報告書を作成しました。報告書は、四川省生計調査協会の重要な政策提言の一つとして、四川省政府に提出されました。また、ガンブ村のアグロフォレストリーモデルが、四川省内の国立自然保護区の周辺の村に展開されました。

ダイキン中国の皆さんの視察

2018年9月、ダイキン中国の11名の皆さんがシーサンパンナを訪問しました。シーサンパンナ自然保護区のスタッフからプロジェクトについて説明を受け、地元の村人と直接対話し、さらに茶摘みとお茶作りも体験しました。



Changtianba 村のプロジェクトを紹介する看板（左）とダイキン中国の皆さん（右）